



西藤っ子だより

学校教育目標：『自主と創造に満ちた人間性豊かな児童の育成』
目指す児童像：「学ぶ子」「やさしい子」「強い子」

第4号 平成30年7月19日発行



7月9日、平年より15日早く梅雨が明けました。そのとたん気温が急激に上がり、熱中症に気をつけなければならない気候が続いています。

「平成30年7月豪雨」と命名された西日本の豪雨では、被害に遭われて亡くなった方が200人をこえ、今なお、行方が分からない人や避難所生活をおくっている方がたくさんいます。豪雨の影響により、被災された皆さまに心よりお見舞い申し上げます。

ほんの少し、雨が降る地域がぞれていたら、福井でも大変な災害が起きていたかも知れないと、平成16年7月に起きた福井豪雨の事を思い出し、危機管理の大切さを改めて考えさせられました。

人間はさし迫った危険に遭遇したときに、まさか最悪のことは起きないだろう、もし起きているならこんな状態ではないはずだ、というように楽観的に状況を認知する「正常性バイアス」という特質があるそうです。全然何でも無かったと後で笑えるような、間違った結果になってもいいから、最悪の状況を考えて、行動を取りたいものです。

*** 保育園との交流会 ***

7月10日、西藤島保育園のみんなを招待して、1年生との交流会を開きました。ジャンケン列車や玉入れなどで仲良く遊びながら、1年生は、ちょっぴりお姉さんやお兄さんぶりを発揮していました。



*** 町探検 ***

7月11日、生活科の時間を利用して、2年生は5つのグループに分かれて町探検に出かけました。馬術競技場や消防署、杉田定一記念碑などをボランティアの方と一緒に周って、地域の自然や歴史のすばらしさに気づく事が出来ました。



*** 庭友会の方にお世話になりました ***

7月11日「庭友会」の方たちが、学校の庭木の手入れを下さいました。この会は、昭和48年頃から続いている会で、学校だけでなく治水公苑や観音堂、新田塚にある公園の木の剪定や手入れを下さいしています。有り難うございました。



*** 西藤島地区の農業 ***

7月12日、5年生は、総合的な学習の時間に、「地域の宝」としての西藤島地区の農業について調べてきました。低温倉庫やJA直売所などを見学したり、お話を伺ったりして、農業についての特色や良さをたくさん見つけてきました。



災害が起きた時に気をつけること

6月18日に発生した大阪府北部を震源とする地震で、小学校のブロック塀が倒れ、通学途中だった4年生の女の子が下敷きになって亡くなりました。

地震の後、茨城県つくば市にある「防災科学技術研究所」の特別研究員、島崎 敢(しまざき かん)さんが、どんな塀や壁が危険なのかをインターネット上に公開したイラストを紹介したいと思います。

